◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇
いわて マナビィ マガジン
No.235 （令和３年度第 20 号） 2022.1.28
◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――★

「岩手県生涯学習推進研究発表会」
岩手の人づくり・つながりづくり・地域づくりフォーラム 2021
（開催方法を変更しました！！）

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――★

「岩手県生涯学習推進研究発表会」の開催がいよいよ来週に迫り、現在、150 名を超える皆様方に参加申し込みをいただいております！

しかし、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、本県や当センター周辺地域でも感染が拡大している状況であり、県では１月 23 日に「新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言」を発出しました。
当研究発表会は、当初より「参集型」と「オンライン型」のどちらでも参加できる（いわゆる「ハイブリッド型」）ように準備しておりましたが、このような状況のため、「オンライン型（YouTube 配信）」のみで実施することに変更しました。

「参集型」での参加を予定されていた皆様には、急な変更でご迷惑をおかけしますが、申し込み時にメールアドレスをご記入いただいた方には、オンライン視聴用のＵＲＬ等を送信しますで、ぜひご参加いただきますようお願いします！
皆様の安全を最優先に、「学びを止めない」ことを目指して発表会を開催して参りますので、ご理解をお願いします。

【研究発表の骨子を紹介します！】
発表会へのご参加の予定にかかわらず、ぜひ皆様に興味を持っていただきたいテーマで研究を行っておりますので、２本の研究発表の骨子の部分を予告したいと思います！

「社会教育における ICT 活用のあり方に関する研究」（２年研究１年次）

１　教育の ICT 化と社会教育の ICT 化政策の動向
（１） 生涯学習審議会答申と情報化政策
（２） 「e-Japan 戦略」と生涯学習の推進
（３） 中央教育審議会答申と生涯学習にかかわる情報化政策
（４） 国家 IT 戦略と生涯学習の推進

２　教育の ICT 化と社会教育の ICT 化の実態

（１） 学校教育における情報化の実態
（２） 社会教育における情報化の実態
（３） 生涯学習における ICT 活用ニーズ
（４） 岩手県の現状

３　アンケート調査について（１年次）
（１）「社会教育における ICT 活用の実態調査」
（２）アンケート調査結果
（３）分析と考察

４　１年次のまとめ

（添付資料）
・アンケート調査用紙
・ネットワーク利用方法の違いによる情報量の変化
・オンライン研修の方法
・ＯＢＳ（ビデオ録画と生配信を行うことができる無料ソフトウェア）マニュアル

「障がい者の生涯学習のあり方に関する研究」（２年研究２年次）

１　障がい者の生涯学習を推進する意義
（１） 障がい者をめぐる社会状況
　ア　共生社会の実現について
　イ　障がい者の生涯学習推進
　ウ　全国調査から見る障がい者の学びの現状
　エ　障がい者を取り巻く国際的な動向
　オ　国内における障がい者施策
　カ　岩手県における障がい者施策
　キ　合理的配慮とは
（２） 障がい者を取り巻く学びの変遷
　ア　学校教育施策
　イ　学校教育外の障がい者の教育施策
（３） 障がい者の生涯学習推進に向けて
　ア　障がい・障がい者理解の促進
　イ　多様な主体との連携
　ウ　生涯学習分野における合理的配慮の推進

２　アンケート調査について
（１）「障がい者の生涯学習推進のあり方」に関するアンケートより
　ア　調査の概要
　イ　調査結果１（単純集計）
　ウ　調査結果２（クロス集計）

（２）調査結果の分析と考察
　ア　障がい・障がい者理解の促進
　イ　関係機関、関係団体との連携
　ウ　障がい者の生涯学習推進に向けた体制の整備

３　障がい者の生涯学習活動事例
（１）高等教育機関における障がいのある人の学びの事例
（２）県の教育行政の取り組み
（３）地域における障がいのある人の学びの保障

４　障がい者の生涯学習を推進するために
（１）３つの視点と、活動事例から見えた新たな視点
（２）障がい者、の生涯学習推進における公的社会教育の役割
（３）学校教育段階における社会とのつながりづくり

５　研究のまとめ（成果と課題）

（添付資料）
・「障がい者の生涯学習推進のあり方」に関するアンケート調査票
・「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座」チラシ

【当日の日程等について】※時間等の変更はありません。

日　時　令和４年２月３日（木）10:30～15:45
　　４日（金）10:00～12:20

内　容　※オンライン（YouTube ライブ配信）のみで開催
［２月３日（木)］
【事例発表・協議】10：45　～　12：45
「障がいのある人の生涯学習の場づくりにむけて」
（助言者）
神戸大学人間発達環境学研究科
教　授　津田　英二　氏
（発表者）
(1)ぽけっとの会
～重い障がいがある子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会～
三浦　かおる　氏、三浦　りん　氏
(2)宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット）
事務局次長　主任相談支援専門員　高屋敷　大助　氏
(3)青森県弘前市教育委員会中央公民館
総括主査　柴田　浩　氏
ボランティアサークル「虹の会」
代　表　安田　政英　氏

【講　演】13：45　～　15：45
「障がい者の生涯学習を考える」
講　師　　神戸大学人間発達環境学研究科
教　授　　津田　英二　氏

〔講師紹介〕
1968 年生まれ。2015 年より神戸大学人間発達環境学研究科教授として勤務（2019 年より神戸大学附属特別支援学校校長を兼任）。大学では、障がいや貧困の問題を切り口として、インクルーシヴな社会に向かう人々の学びの方法や過程を追究する実践的研究を推進。現在、文部科学省「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会」委員（座長）、兵庫県教育委員会「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム委員（座長）、三田市障害福祉審議会（座長）等、複数の委員としてご活躍中。
『障害のある成人の学習支援論（学文社、2006 年）』、
『物語としての発達／文化を介した教育（生活書院、2012 年）』
『生涯学習の支援論（学文社、2003 年）』
『社会教育・生涯学習研究のすすめ（学文社、2015 年）』他、著書多数。

［２月４日（金）］　10：00　～　12：20
【研究発表】　当センターの今年度の研究成果を発表します。
（助言者）
岩手大学名誉教授（岩手県教育委員）
新妻　二男　氏
（発表者）
(1)「社会教育における ICT 活用のあり方に関する研究」
（２年研究１年次）
※本県における ICT の活用について現状の調査と今後のあり方について探ります。
県立生涯学習推進センター
社会教育主事　高橋　　啓

(2)「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」
（２年研究２年次）
※障がいのある方もない方も共に学べる生涯学習のあり方について探ります。
県立生涯学習推進センター
社会教育主事　阿部　貴弘

※お問い合わせは生涯学習推進センターまでどうぞ。
（電話 0198-27-4555）

【生涯学習電話相談「マナビィコール」】
研修会・講師情報等のお問い合わせ等は下記までお気軽にどうぞ！
当センターで行っている「学び」全般の相談ダイヤルです。
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/soudanshien/manabiikoru.html

||||||